

「地下水で拓く安曇野の未来」シンポジウム

～「地下水は誰のもの！？」次世代に引き継ぐ「地下水資源の未来の姿」～

地下水保全に関する市の取り組みや、国、他自治体の動向を報告する中で、市民の皆さんに市の現状をお知らせし、これからの地下水保全の取り組みについて一緒に考えます。同日行われる環境フェアと合わせてお出掛けください。

開催日 10月12日(日)

- 時 間 午後2時から5時まで
(開場：午後1時30分)
- 場 所 堀金総合体育館サブアリーナ
- そ の 他 参加無料・事前申し込み不要
- 内 容

■基調講演①

「水循環基本法について」～健全な水循環の実現に向けて～

講師 そでのれいこ 袖野玲子さん (環境省 水・大気環境局土壌環境課 地下水・地盤環境室室長補佐)



袖野玲子さん

■基調講演②

「地域の地下水を守り、育み、そして活かす」
～市民・企業・行政などが協働する仕組み～

講師 はしもとじゅんじ 橋本淳司さん (水ジャーナリスト、アクアスフィア代表)

橋本淳司さん

■パネルディスカッション

テーマ 「地下水は誰のもの！？」次世代に引き継ぐ「地下水資源の未来の姿」

■展示・イベント

▷利き水コーナー (※全問正解者に記念品贈呈) ▷地下水の歴史と地域への恵みの紹介▷地下水の現状と将来予測▷地下水に係る市民アンケートの結果ほか

〒984-0801 穂高支所内環境課環境保全係 TEL82・3131 (代) FAX82・6622



安曇野ワサビ田湧水群



第1回委員会の様子

地下水保全に向け水環境基本計画づくりが始まる

地下水の保全や適正利用を図るための総合的な計画を策定する「市水環境基本計画策定委員会」の第1回会議が8月8日、穂高支所で行われました。当日は、学識経験者や市商工会、市工業会、ワサビ農家の代表者など12人に宮澤市長から委員委嘱書が手渡されました。会長には、遠藤崇浩さん(大阪府立大学准教授)が選ばれました。

同計画は、条例に基づき策定するもので、年間約600万立方メートル減少している地下水位低下に歯止めをかけ、新たな地下水を育むために必要な涵養策や適正利用のための方策などを示すもの

で、平成28年度からの実施を目指しています。

宮澤市長はあいさつで「安曇野の地下水を良好な状態で次世代に引き継げるよう、具体的かつ実効性ある計画にしてほしい」と期待を寄せました。

**水環境保全を共に考える
名水サミット次回開催地に決定**

全国水環境保全市町村連絡協議会が主催する全国大会、「名水サミットin周南」が8月1日、山口県周南市で開催されました。

この大会で、安曇野市が次回の大会開催地として承認され、大会宣言を宮澤市長が読み上げました。

この協議会は、環境省の昭和と平成の名水百選に選ばれた名水の

地がある173市町村で構成し、水環境の保全を目指して、全国大会と「名水シンポジウム」を行い、各地の取り組みの紹介や情報交換を行っています。

大会に合わせ、市の地下水保全の取り組みや安曇野の地下水の魅力を全国に発信していきます。



大会宣言を読み上げる宮澤市長

安曇野の地下水を次の世代へ

地下水の保全・市の取り組み状況

市では「市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例」(以下条例)を平成25年4月に施行し、私たちの貴重な財産である地下水の保全等に取り組んでいます。現在の市の取り組み状況などをお知らせします。

注目
情報 **2**